

東陽病院だより

〈新任医師の紹介〉

この4月の千葉大学の人事異動に伴って、東陽病院でも4名の医師が交代になりました。

後藤医師(整形外科)、西脇医師(産婦人科)、高橋医師(外科)、黒田医師(内科)が転出し、新たに次の4名が着任しました。



しば ぎまき ひで ひと 医師
芝 崎 英 仁 (外科)

昭和42年8月14日生

前勤務地：深谷赤十字病院

4月より東陽病院外科に赴任しました。3年前に八日市場市民総合病院外科に勤務していたため、この辺には愛着があります。九十九里に程近い環境で、一生懸命この地域の医療に役立てるように頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしく願います。



あいはら たかひと 医師
粟飯原 孝人 (整形外科)

昭和37年10月7日生

前勤務地：千葉大学医学部付属病院

初めまして。粟飯原(あいはら)と申します。生まれ育ちは横浜で、大学時代は秋田で過ごしました。医師になってから千葉大、栃木、清水、長野、熊谷、佐原等で研修し、この3年は千葉大で腰椎疾患の研究、診療、手術を行っていました。整形外科は常勤が1人なので、不手際な点もあると思いますが、よろしく願います。



いじち かんすけ 医師
伊地知 幹雄 (産婦人科)

昭和22年7月4日生

前勤務地：成田赤十字病院

4月より東陽病院産婦人科を担当することになりました。以前より海に近いところで仕事をしたいと思っておりましたので、九十九里浜に近いこの病院に移れたことを喜んでいきます。東陽では、患者さんとじっくり話をしながらの診療に努めたいと思っています。よろしく願います。

近年の医学、医療の進歩はめざましいものがありますが、地域の方々はこの地に居ながらにして、いつでもその時々最高の医療を受ける権利があります。東陽病院では、新進気鋭のスタッフと最新の設備をもって、日夜地域の皆様のご要望にお応えすべく努力しております。昨年度からは、患者さんが住み慣れた自分の家で、家族と共に生活しながら療養できるようにと、訪問看護を始めました。又、病棟に入院している患者さんには、1日も早く健康を取り戻せるようにと、薬剤師がベッドを訪れ薬の使い方を説明する服薬指導も始めました。さらにこの4月からは外来診療の一層の充実を図るため、泌尿器科の診療日を現在の週1回から週2回(火・木曜日)に増やすことになりました。



もり じん 医師
森 真史 (内科)

昭和42年11月19日生

前勤務地：水戸済生会病院

はじめまして。この度、東陽病院に勤務することになりました森居真史です。こちらに越(こ)えてきてからまだ日も浅いのですが、大変長閑(ながさか)なところで心も和みとても気に入っております。出身は東京の調布市ですが、わたしの住んでいた頃はまだ土地開発が今ほど盛んではなく、すぐ近くには“野川”という多摩の支流が流れており、これまた長閑な所でありました。そんな訳で現在住んでいる場所とどこか似通った趣があつて幼い頃が思い出されます。この世に“生”がある限り病気の戦いは尽きることがありませんが、病院は単に病気を治すだけでなく存在するわけではありません。病気になり、はじめて健康という生のありがたみを知り、病気に打ち勝つていきる喜びを得、生きることの意味をあらためて問直す、そのような場所が病院であると考えております。そのためにも少しでも皆様のお役に立てればと思う次第です。宜しく願います。

〈振込機の寄付〉

— ありがとうございます —

病院の会計事務に役立ててくださると、横芝町古川の田戸岡武四さんから給与振込等に使用する事務機の寄付をいただきました。

〈総合相談窓口の開設〉

東陽病院では地域の皆様の健康管理の助けになればと、医療、保健、福祉の総合相談窓口を開設しました。

- ★ 相談日：毎週金曜日午後1時～3時
- ★ 対象：光町、横芝町、野栄町の住民
- ★ 問い合わせ：東陽病院 (☎84-1335)